

# 事務事業評価シート(平成23年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
53111	中間教室管理事業	教育委員会	学務係	向山 光	石川 あけみ
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2503
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	予算コード 1007	事業名(歳出予算見積書) 中間教室	
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A		
		章 (コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり	
		節 (コード選択)	3節	学校教育の充実	
		項[基本施策] (コード選択)	1項	教育支援の充実	
	目[主な施策] (コード選択)	1目	こどもの個性への対応		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 11 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

児童、生徒、保護者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

不登校児童・生徒を対象に集団対応、学習指導や悩みなどの相談に対応し、学校復帰を目指す

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	中間教室を開室し、一日でも多く通室し学校復帰への指導をする
2	児童、生徒に対して学習指導や集団行動への適応を促す
3	
4	

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)		
①	指標名	中間教室開室日数		日	201	211	210	1.00	210
	説明	教室を開いた日数(土日、祝祭日、長期休暇除く)		目標値設定の根拠	平成23年度と同様に実施予定				
②	指標名	中間教室登録人数		人	5	4	3	1.33	3
	説明	申請をしている人数		目標値設定の根拠	減少傾向のため				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)		
①	指標名	学校に復帰した割合		%	19	0	33	0.00	33
	説明	集団的な行動ができるようになった割合		目標値設定の根拠	3人に1人を目標とする				
②	指標名						#DIV/0!		0
	説明			目標値設定の根拠					

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み				
対前年比	%		121.3	99.7				
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			651	500				
B)一般財源(税金)		3,625	3,746	3,884				
①事業費	(千円)	508	642	650				
対前年比	%		126.4	101.2				
②人件費の概算	(千円)	3,117	3,755	3,734				
対前年比	%		120.5	99.4				
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24			
町職員(正規職員)	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.01 0.01 0.01	0.01 0.01 0.01	37	35	34
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0.00 1.00 1.00	0.00 1.00 1.00	3,080 3,720 3,700

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	C	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後可能性はない	A・Bの場合その具体的な内容をお書きください 民間での取り組みもある。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している C 把握していない	A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 児童生徒の保護者や学校と話し合いを持っている

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

県費補助事業を取り入れ、不登校児童生徒をなくす取組を強化してきた。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

不登校児童生徒を無くすためにも、教室の設置は有意義であり、学校に対応できる変化を児童生徒に求めていく。また、児童生徒の状況把握のためのQUテストを実施し、不登校を未然に防ぐ方策とする。

24年度予算見積書への反映  あり  なし

〔反映内容〕

QUテストについては、実施学年を拡大した

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

少人数学級が進む中で、不登校児童が減少傾向を示し始めているが、不登校児童生徒を無くすためにも、教室の設置は有意義であり、人数の多少に係らず維持すべき事業である。引き続き現状で実施していく。

上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック

- A. 貢献度 大      D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

➡  上記 a~e を選択